MITSUBISHI

正しく使って上手に節約

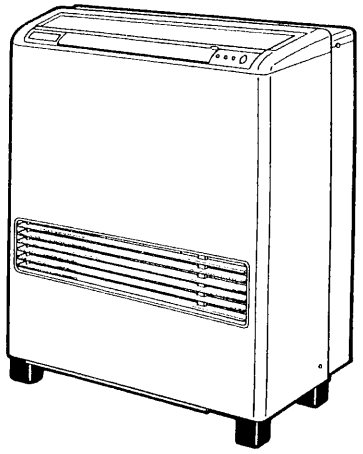
三菱クリーンヒーターエアコン〈強制給排気式ガスストーブ〉

形名

VGC-3001DF 取扱説明書

VGC-4001DF

お客さま用



このたびは三菱クリーンヒーターエアコンをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役だてください。

特にご注意いただきたいこと

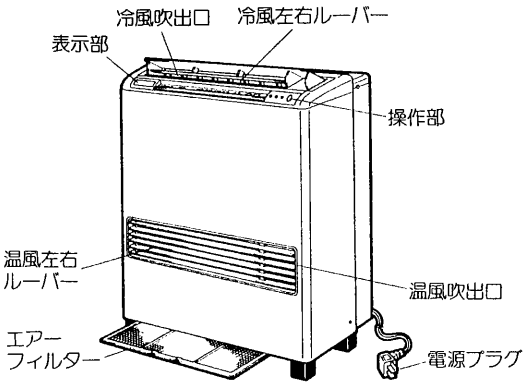
- お客さまご自身による工事は危険です。設置工事は必ず専門家にご依頼ください。
  （畳替えやじゅうたんの張り替えなどで器具を移動する場合も同じです。）

もくじ

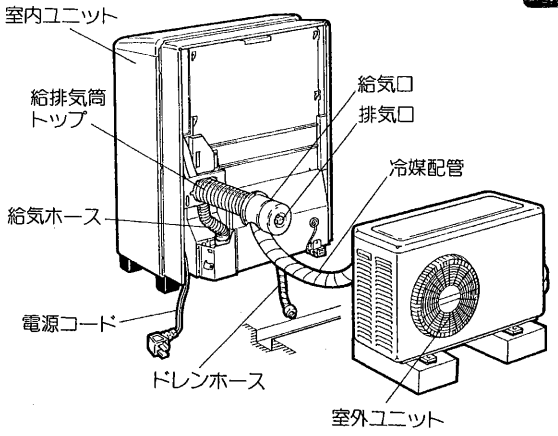
1．各部の名称…… 1
2．必ずお守りください…… 3
3．器具の設置…… 8
4．使用方法
ご使用の前に…… 9
（基本編）
運転の開始と停止…… 10
（応用編）
現在時刻の合わせかた…… 12
ファジィ温感コントロール…… 13
室温調節…… 13
セーブ運転…… 14
タイマー運転のしかた
基本編…… 15
応用編…… 18
風量切換えのしかた…… 20
風向調節のしかた…… 21
こんなときは故障ではありません…… 22
5．日常の点検・手入れ…… 23
6．故障・異常の見分けかたと処置方法…… 27
7．長期間使用しない場合…… 30
8．仕様…… 31
9．アフターサービス…… 32
10．定期点検…… 34

1.各部の名称

外観図



※図は説明用で使用時とは異なります。



表示部

表示部
設定温度、室内温度、時・分を表示します。また、異常のときは運転を停止し、チェックモード（故障・異常状態）を表示します。

温度表示ランプ	設定温度、室内温度を表示のとき点灯します。
現在時刻ランプ	現在時刻を表示のとき点灯します。
切タイマーランプ	切タイマーの表示のとき点灯します。
入タイマーランプ	入タイマーの表示のとき点灯します。

午前・午後ランプ
午前・午後を表示します。

操作部

室温調節／時刻調節ボタン
設定温度、現在時刻、切タイマー、入タイマーの設定に使います。

※図は説明のため、すべてを表示させた状態にしてあります。
実際は該当部のみ表示します。

入タイマー1ランプ	入タイマー2ランプ
入タイマー1運転中に点灯します。	入タイマー2運転中に点灯します。

風量切換表示ランプ
自動・強風・中風・弱風運転を表示します。

フィルター清掃ランプ
エアーフィルター目づまりのときにランプが点滅します。エアーフィルターを清掃せず、そのまま使用するとブザーを鳴らして燃焼を停止します。

温感ランプ
温感コントロール運転中に点灯します。

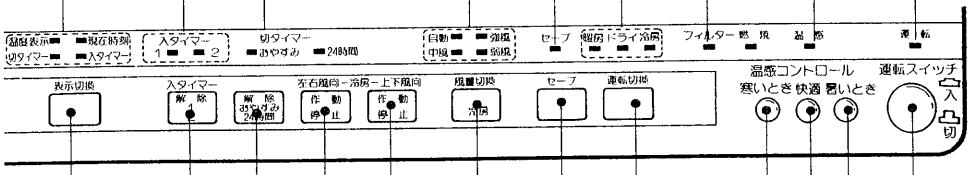
切タイマーおやすみランプ	切タイマー24時間ランプ
切タイマーおやすみ運転中に点灯します。	切タイマー24時間運転中に点灯します。

セーブ運転ランプ
セーブ運転中に点灯します。

運転切換表示ランプ
暖房・ドライ・冷房運転を表示します。

燃焼ランプ
燃焼中のみ点灯します。

運転ランプ
運転中に点灯します。



表示切換ボタン
温度表示、現在時刻、切タイマー、入タイマーの切換えに使います。

入（おはよう）タイマースイッチ
入（おはよう）タイマー運転をするときに使います。

切（おやすみ）タイマースイッチ
切（おやすみ）タイマー運転をするときに使います。

セーブ運転スイッチ
セーブ運転を「入・切」するときに使います。

運転切換スイッチ
暖房、ドライ、冷房の切換えに使います。

運転スイッチ
運転開始および運転停止に使います。

オートスイング（左右）スイッチ
冷房・ドライ運転時、左右風向の作動・停止の切換えに使います。

オートスイング（上下）スイッチ
冷房・ドライ運転時、上下風向の作動・停止の切換えに使います。

風量切換スイッチ
自動・強風・中風・弱風の切換えに使います。

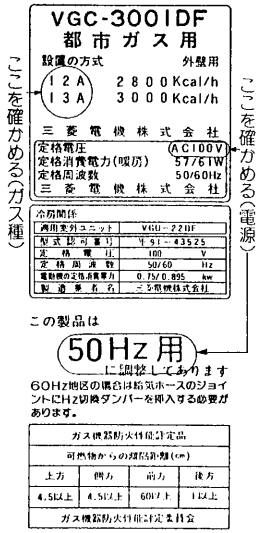
ファジィ温感コントロールスイッチ		
寒いとき	快適	暑いとき
押すと室内温度表示に対して、設定温度表示が1～3℃上がります。	押すと室内温度表示と設定温度表示が同一になります。	押すと室内温度表示に対して、設定温度表示が1～3℃下がります。

2.必ずお守りください

使用ガス・電源について

1

室内ユニット右側銘板(例)



室内ユニット(銘板)に表示してあるガス種・電源(電圧・周波数)以外の使用はできません。

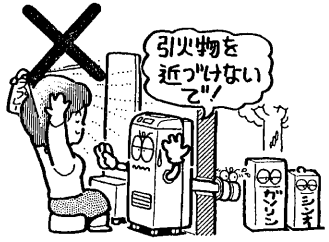
- ご使用のガス種が不明、または室内ユニットの表示と一致しない場合は、お買い求めの販売店、またはガス供給業者(ガス会社)へご相談ください。

〔ご注意〕

- 銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)でも指定されたガス会社(カタログに表示)のガス以外は使用できません。

火災予防

1

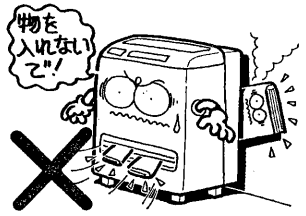


引火物は近づけない

室内・室外ユニットや給排気筒トップの周囲には危険物(ガソリン・シンナーなど引火しやすいもの)が絶対にないようにしてください。

- 火災や部品の劣化の原因となります。

2



温風・冷風吹出口や室内ユニットの背面にものを入れないで

- 煙が出たり、火災の原因になったり、けがや器具の故障の原因になります。

3

カーテンや燃えやすいものそばなどでは、使用しないで

- 火災の原因になります、またカーテンが変色することがあります。

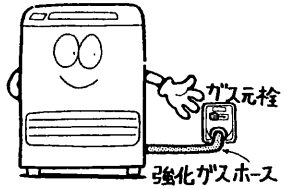
4

外出するときは必ず消火

- 運転スイッチを「切」にしてください。

ガス事故防止

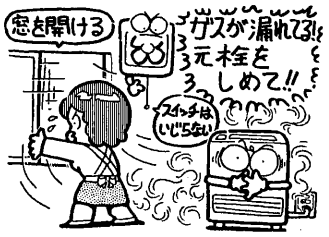
1



確実なガス配管とガス元栓

- ガス供給業者(ガス会社)による規定の強化ガスホースまたは金属管で配管します。
- 使用されないとき、外出の際は、部屋のガス元栓を必ず閉めてください。

2



ガス漏れの点検

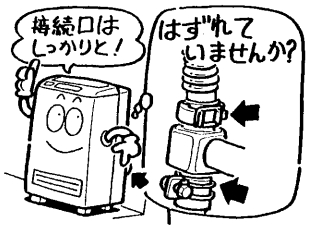
ガス臭くないかときどき点検してください。

- 万一、ガス漏れに気づいたときは、部屋のガス元栓を閉じて窓や戸を開けガスを外へ出してからお買い求めの販売店、またはガス供給業者(ガス会社)へご連絡ください。
- 万一、ガスが漏れたときは、火に注意してください。スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しでも爆発事故をおこすことがあります。

2.必ずお守りください つづき

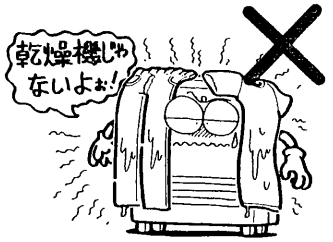
使用上の注意

1 排ガスの漏れに注意



給排気筒(管、ホース)が正しく接続されているか確認してください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒のおそれがあり、大変危険です。
排気筒などに穴あきがないか、ストッパーが外れていないか、ときどき点検してください。

2 衣類の乾燥などはやめて



衣類の乾燥などには使用しないでください。
- 衣類などを室内ユニットの上に置いたりすると、温風の吹出口がふさがれて室内ユニットが変形したり、内部に熱がこもり故障の原因となります。
  また、異常高温となり火災のおそれがあります。

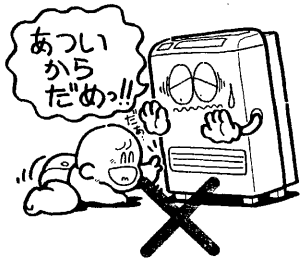
3 居室以外での使用は避ける

室内ユニットは居室の冷暖房用としてつくられたものですので、乾燥室、温室、飼育室などでは絶対に使用しないでください。
また、クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
- 化学薬品などの影響により不完全燃焼や故障の原因になります。

4 器具の上に腰かけたりものをのせない

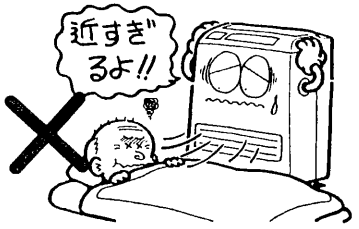
- やけどをしたり、器具の変形や給排気筒トップが外れ危険です。

5 やけどに注意



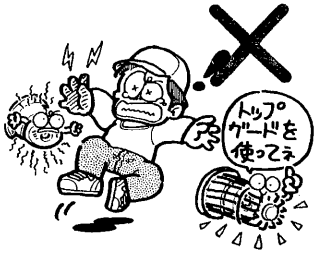
暖房運転中、温風吹出口は高温になりますので、触らないでください。
特にお子さまを室内ユニットに近づけないでください。

6 温風を長時間、直接身体にあてない



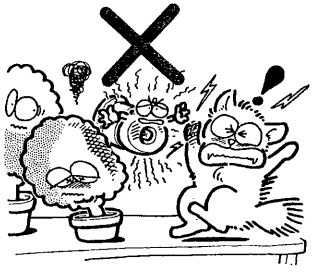
- 脱水状態になったり、低温やけどの原因になります。特に、体力のない病人・乳幼児・お年寄りには、まわりの人が注意してあげてください。

7 給排気筒トップに注意



給排気筒トップは高温です。やけどに注意してください。
- お子さまが、給排気筒トップのそばへ近づかないよう注意してください。
  トップガード(別売部品)をご使用ください。

8 給排気筒トップの付近にものを置かない

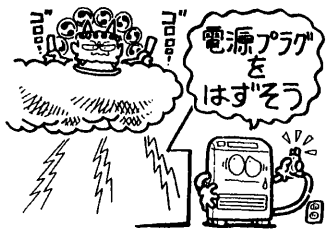


給排気筒トップの付近に犬猫など愛がん動物を近づけないようにしてください。また、植木なども置かないようにしてください。
- 事故がおこったり、木が枯れたりする原因になります。

2.必ずお守りください つづき

使用上の注意 つづき

9

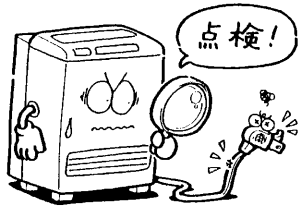


雷時の注意

雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 激しい雷の影響で室内ユニットが故障するおそれがあります。

10

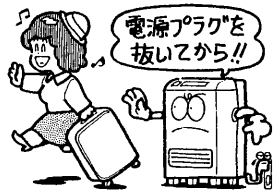


電源コードや電源プラグの点検

ご使用になる前には、必ず電源コードや電源プラグを点検してください。

- 電源コードが排気筒など、高温部に触れないよう、ご注意ください。
- 電源コードや電源プラグはいたんだまま使用しますと、やけど、感電、火災などの原因になります。

11



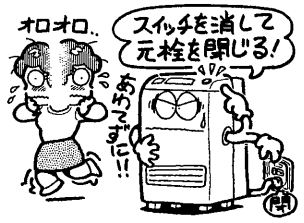
必ず電源を切る

長期間留守にするときは、必ず電源プラグを抜いてください。

- 電源プラグは送風が停止してから抜いてください。

異常時の処置

1



異常時にはあわてず消火

万一、異常を感じたり緊急の場合はあわてずに運転スイッチを「切」にし、部屋のガス元栓を閉めてください。

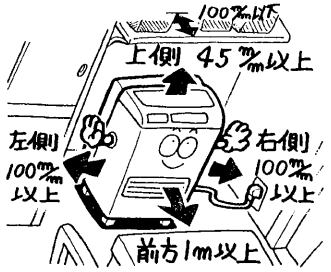
3.器具の設置

器具の設置・移動についてはお買い求めの販売店が「ガス機器の設置基準（ガス消費機器設置基準調査委員会編）に基づいて行っております。

お客さまご自身では設置しないでください。(事故の原因となります。)

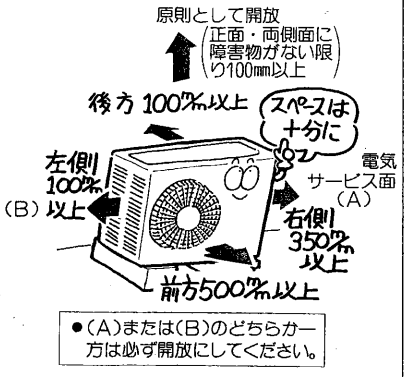
器具と周囲との距離

1



■室内ユニットを設置する場合は、火災予防のため、「ガス機器の設置基準(ガス消費機器設置基準調査委員会編)」に定められた寸法および定期点検、給排気回りの点検、アフターサービスを行うために必要な左図の空間寸法を必ずとってください。

2



●(A)または(B)のどちらか一方は必ず開放にしてください。

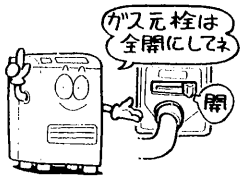
■室外ユニットを設置する場合は、冷房能力が低下しないよう、左図の寸法がとれる位置に設置してください。

4.使用方法

この製品は暖房・冷房・ドライの3通りの運転ができます。
ご使用の前に下記の準備および確認を行ってください。

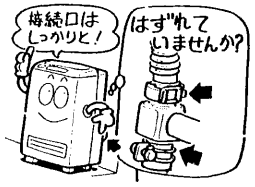
暖房時

1 部屋のガス元栓を全開にします。



- ガス元栓を開く際には、他の器具のガス元栓を誤って操作しないでください。
- ガス元栓で火力調節は行わないでください。不完全燃焼の原因となります。

2 給排気筒接続の確認をします。



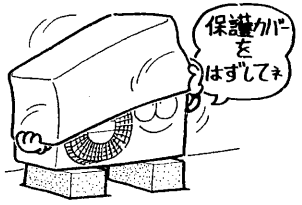
- 給排気筒が正しく接続されているか確認してください。
  外れていると運転中に排ガスが漏れ大変危険です。23ページ参照)
- シーズンはじめに給気ホース、排気筒が正しくしっかりとつながっているか、確認してください。

3 室内・室外ユニット周辺の確認をします。

- 室内・室外ユニットの周囲および給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物を置かないでください。

冷房・ドライ時

1 保護カバーを取外します。

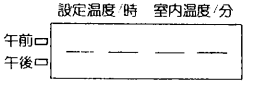


- 保護カバーを取付けたまま運転されますと、室外ユニット用ブレーカーが動作し室外ユニットの運転を停止します。
- 保護カバーは別売部品です。

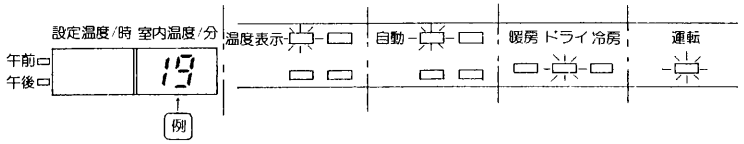
基本編

1 初期設定の説明 ……電源プラグを差込んだときおよび、停電後には下記の内容になります。

①電源プラグをコンセントに差込みます。
表示部に－－－－が表示されます。



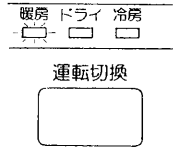
②[運転スイッチ]を押して「入」にします。
表示部に室温を表示し、下記のランプが点灯してドライ運転が開始されます。



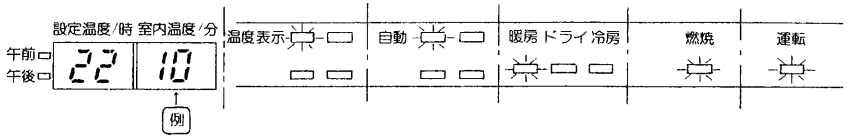
ご注意

- [運転スイッチ]が「入」になっている場合は、[E-00]が表示されますので[運転スイッチ]を押しなおして「入」にします。

2 暖房運転の開始と停止



①[運転スイッチ]を押し「入」にします。
②[運転切換]スイッチを押し暖房ランプを点灯させます。
③表示部に設定温度22℃が表示され、着火すると燃焼ランプが点灯します。



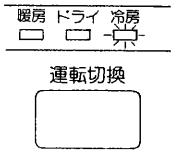
④温風吹出口より風が出て、やがて室温を自動的に22℃に保ちます。
⑤[運転スイッチ]を押して「切」にします。
⑥暖房運転が停止し、ランプが消灯します。(表示部のみ[－－－－]または現在時刻を表示します。)
●以降は[運転スイッチ]を押すだけで設定温度22℃の自動運転ができます。

ご注意

- 各スイッチは押すと"ピッ"と音がして正常に動作したことを知らせます、"ピィ・ピィ"と5回鳴る場合はエラーが発生しています、[運転スイッチ]をゆっくり押しなおしてください。
- 温風は一度停止してもしばらくして再度出る場合がありますが、異常ではありません。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、元電源(ブレーカー)を切ったりして運転を停止しないでください。器具が過熱し故障の原因になります。
- 室内温度表示が設定温度より1℃以上高いときは暖房運転しません。

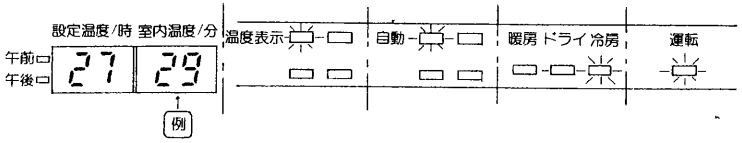
4.使用方法 つづき

3 冷房運転の開始と停止

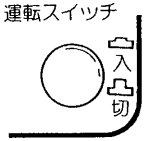


①[運転スイッチ]を押し「入」にします。
②[運転切換]スイッチを押し、冷房ランプを点灯させます。

③表示部に設定温度27℃が表示されます。(下記のランプ点灯)



④冷風吹出口が自動的に開き、冷風が吹出し、やがて室温を自動的に27℃に保ちます。
⑤[運転スイッチ]を押して「切」にします。
⑥冷房運転が停止し、ランプが消灯して冷風吹出口が自動的に閉まります。(表示部のみ[－－－－]または現在時刻を表示します。)

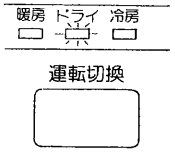


●以降は[運転スイッチ]を押すごとに設定温度27℃の自動運転ができます。

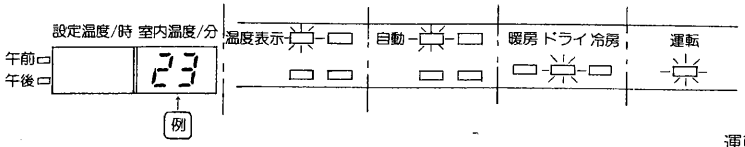
●室内温度表示が設定温度より低いときは冷房運転しません。

4 ドライ運転の開始と停止

ドライ運転は湿度が高いとき(梅雨時)などに運転してください。
室温を1～3℃下げた状態で湿気を取除きます。



①[運転スイッチ]を押して「入」にします。
②[運転切換]スイッチを押してドライランプを点灯させます。
③表示部に室温を表示し、下記のランプが点灯して冷風吹出口が自動的に開き、ドライ運転を開始します。



④[運転スイッチ]を押して「切」にします。
⑤ドライ運転が停止し、ランプが消灯して冷風吹出口が自動的に閉まります。(表示部のみ[－－－－]または現在時刻を表示します。)

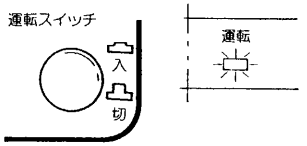
ご注意

●ドライ運転中は室温調節・風量切換はできません。また設定温度も表示されません。

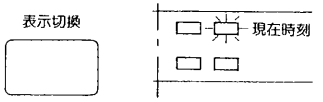
応用編

1 現在時刻の合わせかた

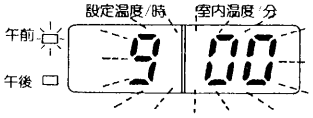
①[運転スイッチ]を押して運転ランプを点灯させます。



②[表示切換]ボタンを押して現在時刻ランプを点灯させます。

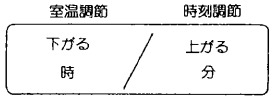


③表示部に午前9:00が点滅します。



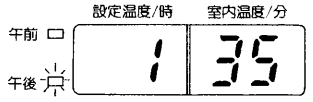
④[時]・[分]ボタンを押して時刻を合わせます。
[例]午後1時35分に合わせます。

(1)[時]ボタンを9→10→11→12→1になるまで押します。



(2)午前のランプの点灯が午後に変わります。

(3)[分]ボタンを押し、00→35にします。



⑤[運転スイッチ]を押して「切」にしても現在時刻は表示されます。

ご注意

●[時]・[分]ボタンは押し続けると表示が連続して変わります。
●時刻合わせは一度セットすれば記憶していますが、電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは、再度時刻合わせをやりなおしてください。

応用編

2 ファジィ温感コントロール

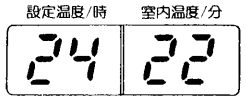
温感コントロールスイッチは暑い、寒い、快適(ちようどいい)と感じたときに押してください。

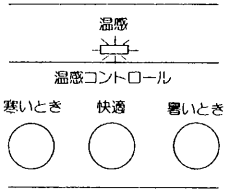
①温感コントロールの動作範囲

	室内温度表示	暑いときを押す	寒いときを押す	快適を押す
暖房時	8℃～30℃	設定温度表示が1～3℃下がる	設定温度表示が1～3℃上がる	設定温度表示と室内温度表示が同じになる
冷房時	16℃～32℃	設定温度表示が1～2℃下がる	設定温度表示が1～2℃上がる	

②使用例…暖房時設定温度、室内温度表示とも22℃で寒いと感じたとき

- 温感コントロールスイッチの寒いときを押します。
- 温感ランプが点灯し、設定温度が2℃上がり24℃を表示します。
- 室内温度が24℃になるまで室内を暖めます。





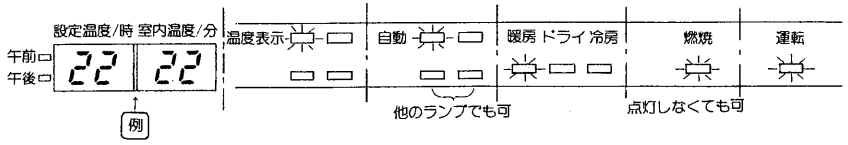
ご注意

- 暑いとき 寒いとき のボタンは設定温度と室温の差により設定温度が変化しないことがあります。

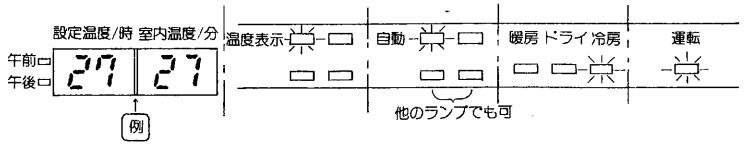
3 室温調節

運転中、設定温度を変えたいとき操作ドアーを開けて行います。
初めて運転されるときは設定温度が暖房は22℃、冷房は27℃にセットされています。

- 暖房の場合……下記のランプが点灯していることを確認します。



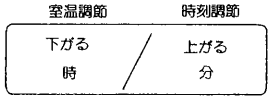
- 冷房の場合……下記のランプが点灯していることを確認します。



①温度表示ランプが点灯していない場合は表示切換ボタンを押して点灯させます。

②上がるまたは下がるボタンを押してご希望の設定温度にセットします。

- 暖房時は8℃～30°、冷房時は16℃～32℃の範囲でセットできます。



ご注意

- 温度調節は一度セットすれば記憶していますが、電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは再度室温調節をやりなおしてください。
- 室内ユニットの前方に障害になるものを置かないでください。前方に障害物を置きますと、温風または冷風を吸い込んで室温調節器がひんぱんに作動して室温調節ができないことがあります。
- 室内温度表示の数字は設置条件などにより必ずしも室内温度(他の温度計の表示など)と一致しません室内温度の目安としてください。

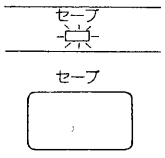
4 セーブ運転

セーブ運転とは暖めすぎまたは冷しすぎを防ぐ省エネ運転です。室内温度表示が設定温度表示と同一になった時点で下表のように動作します。

経過時間	暖房運転時	冷房運転時
30分後	室内温度が1℃下がる	室内温度が0.5℃上がる
さらに30分後	さらに室内温度が1℃下がる	さらに室内温度が0.5℃上がる
合計で	2℃下がる	1℃上がる

①暖房または冷房運転中にセーブ運転スイッチを押します、セーブ運転ランプが点灯します。
(タイマー運転中でも押すことができます。)

②もう一度セーブ運転スイッチを押すと解除されます、セーブ運転ランプが消灯します。
(温感コントロールスイッチを押しても解除されます。)



ご注意

- ドライ運転時にはセーブ運転はできません。
- セーブ運転は一度セットすれば記憶していますが電源プラグをコンセントから抜いたときや停電のときは再度セーブ運転をセットしなおしてください。
- セーブ運転中、室内温度表示が変わっても設定温度表示は変わりません。
- セーブ運転中に設定温度を変更したときは変更した設定温度でセーブ運転をします。

5 タイマー運転のしかた

タイマー運転の種類は下表のようになっています。

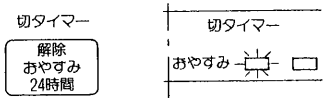
切タイマー	おやすみタイマー	1時間～9時間後に運転を停止させるとき使用します。
	24時間タイマー	○時○分になったら運転を停止させるとき使用します。
入タイマー	パターン1 パターン2	○時○分に運転を開始させるとき使用します、平日と休日のように入タイマー時刻を2通りセットできるよう1、2があります。

「おやすみタイマー」以外は現在時刻がセットされていないと運転できません。

基本編 ……おやすみタイマーの使いかた

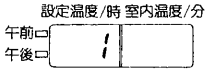
おやすみタイマーは現在暖房か冷房またはドライ運転中で1～9時間後(1時間単位)に運転を停止したいときに使用します。

①[切タイマー]ボタンを押して切タイマーおやすみランプを点灯させます。

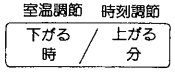


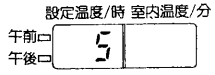
②表示部に1時間が表示されますのでご希望の時間にセットします。(1～9時間の範囲でセットできます。)

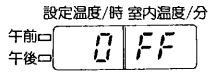
[上がる]ボタンを押すと……1→2→3～9
[下がる]ボタンを押すと……9→8→7～1
と表示が変わります。
右図は5時間後に停止するようにセットした場合



③ご希望のセット時間が過ぎますと自動的に運転を停止し、表示部にOFFを表示します。







ご注意

- おやすみタイマーは現在時刻がセットされていなくても動作します。
- おやすみタイマーの解除は[切タイマー]ボタンを2回押して解除します。

残時間表示について

おやすみタイマーの残時間表示と実質時間は右表の通りです。

表示時間	実質時間
1時間	1時間 ～1時間29分
2時間	1時間30分～2時間29分
⟆	⟆
8時間	7時間30分～8時間29分
9時間	8時間30分～9時間00分

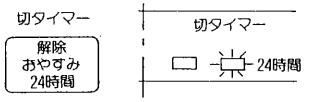
ご注意

- 分については実質時間を表示します。

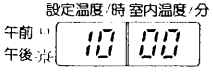
基本編 …24時間タイマーの使いかた

24時間タイマーは現在暖房か冷房またはドライ運転中で○時○分に運転を停止したいときに使用します。

①[切タイマー]ボタンを2回押して、切タイマー24時間ランプを点灯させます。

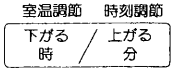


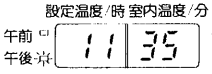
②表示部に午後10:00が表示されますのでご希望の時刻にセットします。



例…午後11時35分にセットする場合

(1)[時]ボタンを押して11時にします。
(2)[分]ボタンを押して35分にします。
(1回押すごとに5分単位で変わります。)





③セット時刻になるまで午後11時35分を表示し運転停止と共に消灯します。

ご注意

- [運転スイッチ]を切っても一度セットした時刻は記憶しています。
- 停止時刻になって運転を停止した状態では[時]ボタン・[分]ボタン・[セーブ]運転スイッチ・[温感コントロール]スイッチは受付けません。
- 切タイマー24時間ランプが点灯しない場合は現在時刻がセットされていません。セットして操作をしなおしてください。

基本編 …入タイマーの使いかた

入タイマーは希望の時刻に自動的に運転を開始したいときに使用します。2つのパターンがセットでき、平日と休日のように使い分けることができます

スタディーウォーミングアップ機能

暖房時、風量切換スイッチが「自動」の場合はスタディウォーミングアップ機能が付いてます。スタディウォーミングアップ機能は室温状況を判断し、セット時刻には室温を約18℃に自動的にあたため、やがて室温を自動的に設定温度付近に保ちます。むだなあたため過ぎを防ぎ、早くお部屋をあたためます。

お部屋の広さなどに合わせ、運転開始時間は変更されます。

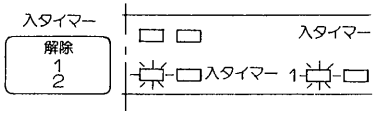
運転前の室内温度	運転開始時間
5℃以下	タイマー設定時刻の約30分前
5~10℃	〃 約20分前
10~17℃	〃 約10分前
18℃以上	セット時刻

パターン1の場合

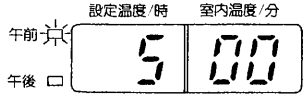
①運転スイッチを押して「入」にします。

②運転切換スイッチを押して暖房・冷房・ドライ運転を選択します。

③入タイマーボタンを押して入タイマーランプと入タイマー1ランプを点灯させます。



④表示部に午前5:00が表示されますのでご希望の時刻にセットします。

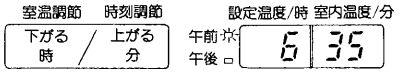


例…午前6時35分にセットする場合

(1)時ボタンを押して6時にします。

(2)分ボタンを押して35分にします。

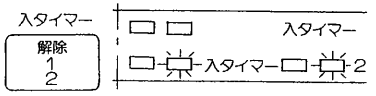
（1回押すごとに5分単位で変わります。）



⑤セット時刻になるまで午前6:35を表示し運転開始と共に温度表示に変わります。

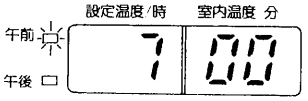
パターン2の場合　（パターン1がセットされています。）

①運転状態で入タイマーボタンを押して入タイマーランプと入タイマー2ランプを点灯させます。



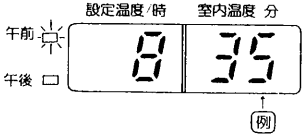
②表示部に午前7:00が表示されますのでご希望の時刻にセットします（例8:35）

③セット時刻になるまでセット時刻を表示し運転開始と共に温度表示に変わります。(切タイマーがセットされていない場合)



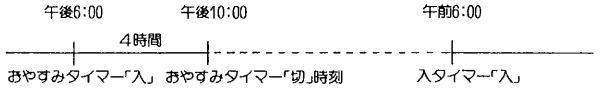
ご注意

●停電後、再通電したとき、タイマー運転は解除されます。



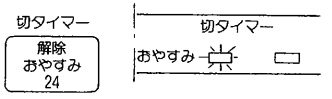
応用編 …タイマーを組合わせて使用する場合

例1

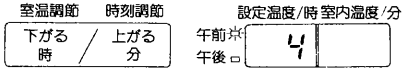


●現在運転していて4時間後に運転停止をし、翌朝午前6:00に運転開始する場合

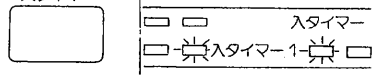
①切タイマーボタンを押して切タイマーおやすみランプを点灯させます。



②上がるボタンを押して4時間を表示部に表示させます。

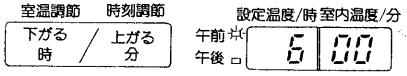


③入タイマーボタンを押し入タイマーランプを点灯させます。

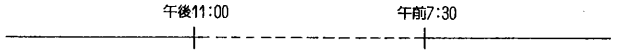


④入タイマーランプ1または入タイマーランプ2の点灯を確認します。

⑤時刻調節ボタンを押し午前6:00に時刻セットします。



例2



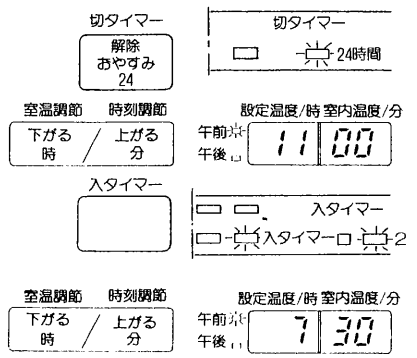
●現在運転していて午後11:00に運転を停止し、翌朝午前7:30に運転開始する場合

①[切タイマー]ボタンを2回押して切タイマー24時間ランプを点灯させます。

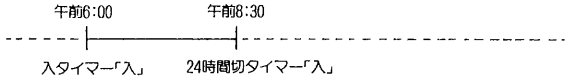
②[時刻調節]ボタンを押して午後11:00に時刻セットします。

④[入タイマー]ボタンを押し入タイマーランプ1または入タイマーランプ2の点灯を確認します。

④[時刻調節]ボタンを押して午前7:30に時刻セットします。



例3



●現在運転していないか午前6:00に運転開始をし、午前8:30に運転を停止する場合

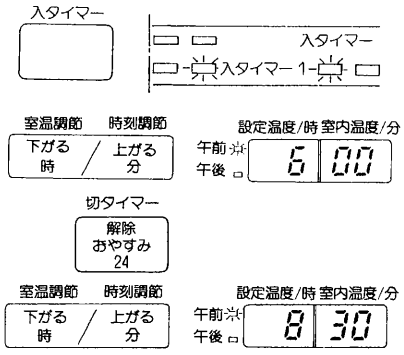
①[運転スイッチ]・[運転切換]スイッチで運転状態にします。

②[入タイマー]ボタンを押して入タイマーランプと入タイマーランプ1または入タイマーランプ2を点灯

③[時刻調節]ボタンを押して午前6:00に時刻セットします。

④[切タイマー]ボタンを2回押し、切タイマーランプ、24時間ランプを点灯させます。

⑤[時刻調節]ボタンを押して午前8:30に時刻セットします。



ご注意

●おやすみタイマー運転中に入タイマー時刻がくるとおやすみタイマーは解除され連続運転に変わります。

●入タイマーと24時間タイマーはタイマーセット後に現在時刻を変更しますとタイマー運転は解除されます。

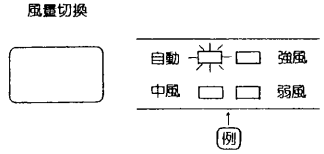
●[運転スイッチ]を押して「切」にすればタイマー運転は解除されますが、セット時刻は記憶しています。[運転スイッチ]とタイマーボタンの操作で毎日同じ時刻にタイマー運転することができます。

6 風量切換えのしかた

ドライ運転は風量切換えができません。暖房・冷房運転時に次のように行ってください。

①[風量切換]ボタンを押してお好みのランプを点灯させます。

●[風量切換]ボタンは押すたびに自動→強風→中風→弱風→自動と変わります。



風量	暖房	冷房
自動	部屋の温度変化をキャッチし、自動的に「強」・「中」・「弱」を切換えます。	
強	2部屋続きなどの広い部屋で使用する場合に使用します。温風が強運転となり温度むらが少なくなります。	急速に冷やしたいときに使用します。
中	「中」にすると強運転と弱運転の中間程度の効果が得られます。	
弱	暖房能力が最も少ない状態で運転します。温風のとぎれをなくしたいときなどに使用します。暖まり具合が不足のときは他の風量をご使用ください。	ゆるやかな風となり静かな運転音となります。

ご注意

●暖房時の風量切換えは表示切換ボタンを押して強風から弱風などに切換えて風量が変化するまでには数分かかります。

●暖房時「弱風」を選ぶと設定温度が自動的に30℃になります。室温が上がり過ぎるときは温感コントロールの[暑いとき]ボタンを押して設定温度を下げてください。

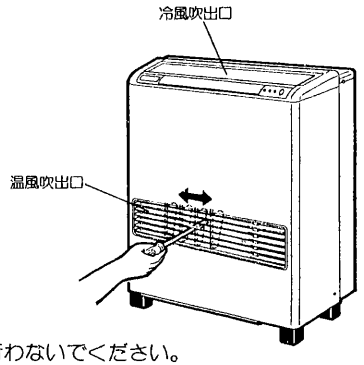
●冷房時は[運転スイッチ]を「切」にしても風量切換モードを記憶していますので[運転スイッチ]を「入」にすると記憶しているモードで運転を開始します。

●暖房時は[運転スイッチ]を「切」にしますと風量切換モードが解除されますので[運転スイッチ]を「入」にすると「自動」で運転を開始します。

4.使用方法 つづき

7 風向調節のしかた

吹出口は冷房・ドライ時は上側、
暖房時は下側です



暖房の場合

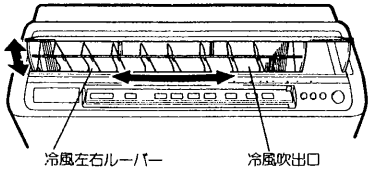
- 左右に風向調節ができます
  吹出口の奥の温風左右ルーバーをドライバーなどで動かします

ご注意

- 暖房中は吹出口が熱くなりますので風向調節は行わないでください。

冷房・ドライの場合 ……〈オートスィング〉

- 左右、上下に風向調節ができます。風向調節はボタン操作で行いますので冷房吹出口を手で操作しないでください。
- 冷房・ドライ運転時には冷風吹出口が自動的に開き、上・下にスイングを開始します。また同時に冷風左右ルーバーも左右にスイングを開始します。(風向ボタンで固定した場合は再度その位置まで復帰して停止します。)
- 冷風吹出口および冷風左右ルーバーはお好みの位置でスイングを止め、風向を固定することができます。

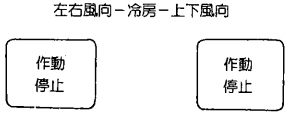


〈上下方向の固定〉

- 上下風向ボタンを押します。
  冷風吹出口の作動が停止します。もう一度押しますと作動します。

〈左右方向の固定〉

- 左右風向ボタンを押します。
  左右に作動していたルーバーが停止します。
  もう一度押しますと作動します。



ご注意

- 冷風吹出口は手などで操作して角度を変えないでください。
- 運転中に冷風吹出口の可動部を押さえて開閉角度が狂ってしまったときは運転スイッチを「切」にしてもう一度入れなおしてください。自動的に元通り復帰します。
- 冷風吹出口の上には物を乗せないでください。冷風吹出口が変形します。
- 冷房・ドライ運転時、冷風吹出口を押さえたりして閉じかかった状態で運転しますと、本体表面及び本体内部・電気部品に結露し、誤動作や故障の原因になります。

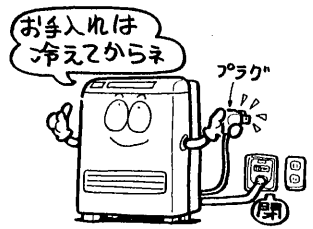
8 こんなときは故障ではありません

- 運転開始した後や運転中、あるいは運転停止したときにも金属音がすることがあります。これは燃焼部分の金属が膨張、収縮するときの音で異常ではありません。
- 購入して初めて運転されたときは、温風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが、これは燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためです。2～3日でなくなりますので部屋の換気をしながらご使用ください。
- 新築家屋の場合は暖房することによって建材から異臭を放つことがあります。このような場合は臭気がなくなるまで部屋の換気をしながらご使用ください。
- 室内温度表示は「0」～「35」の範囲で表示されます。ただし、室内温度が0℃未満のときは「L」、35℃を越えるときは「H」が表示されます。
- 暖房の場合、室内温度表示が設定温度より高いときは燃焼しません。
- 冷房の場合、室内温度表示が設定温度より低いときは冷房運転しません。
- 運転中、停電があった後は表示部に「E－00」が表示されますので、運転スイッチを押しなおしてください。全ての記憶が消えていますので再セットしてください。
- 初めて運転されるとき、またガス配管を取替えられたときは配管中に空気が入っているため点火しないことがあります。この場合には、表示部に「E－01」が表示されますので、運転スイッチを押しなおしてください。この状態を2～3回繰り返しても点火しない場合は、27～29ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」をお読みください。
- 電源プラグを差込む前に、運転スイッチが入っていますと、電源プラグを差込んだときに、表示部に「E－00」が表示されますので、運転スイッチを押しなおしてください。

5.日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

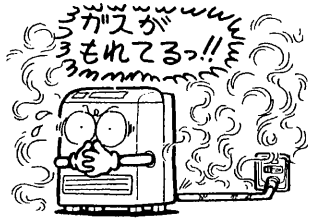
1



●室内ユニットが冷えてから行ってください。
●電源プラグは必ずコンセントから抜いてください。
●部屋のガス元栓を閉じてください。

点　検

1



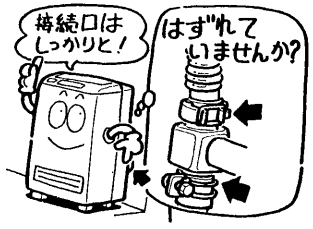
ガス漏れの点検

室内ユニット内部やガス管および接合部などがガス臭くないか点検してください。

●万一、ガス漏れに気づいたときは、部屋のガス元栓を閉じて窓や戸を開けガスを外へ出してからお買い求めの販売店、またはガス供給業者(ガス会社)へご連絡ください。

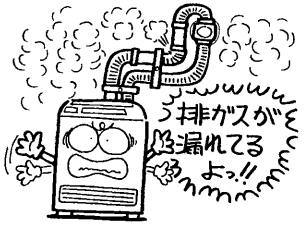
2

暖　　房 ……シーズンはじめ



給気ホース・排気筒の点検

①給気ホース、排気筒がしっかりつながっているか、また接続箇所ガストッパーで固定されているか、ドライバーで背面カバーを外して確認してください。



②延長配管の場合は排気筒にシミができていないか点検してください。
排ガスが室内に漏れますと一酸化炭素中毒のおそれがあり、大変危険です。
万一外れやシミがあったり、破損していたらただちに使用をやめてお買い求めになった販売店に修理依頼(有料)してください。

3

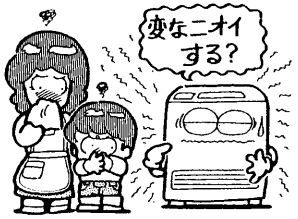
給排気筒トップ周囲の点検

①給排気筒トップがクモの巣やビニールの袋などでふさがれていないか点検してください。
ふさがれている場合は取除いてください。

②給排気筒トップの給気穴、排気穴が壁の中に入っていないか点検してください。
異常が見つかった場合は必ずお買い求めの販売店に修理依頼(有料)、または最寄りの三菱電機お客さま相談センターにご相談ください。

4

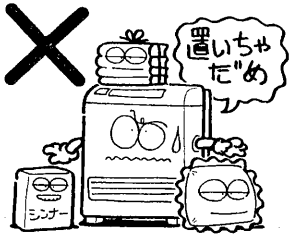
暖　　房 ……使用のたび



排ガスの点検

排ガスのにおいや目がチカチカする場合は、排気筒や接続部(Oリング部)から排ガスが漏れていることが考えられます。(一酸化炭素中毒のおそれがあり、非常に危険です。)ただちに使用をやめてお買い求めになった販売店に修理依頼(有料)、またま最寄りの三菱電機お客さま相談センターにご相談ください。

5



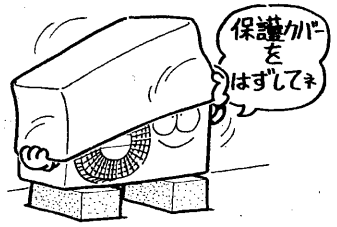
周囲の可燃物の点検

①器具の上や周囲に可燃物を置かないでください。

②給排気筒トップの周囲に可燃物、引火物を置かないでください。

6

冷　　房 ……シーズンはじめ



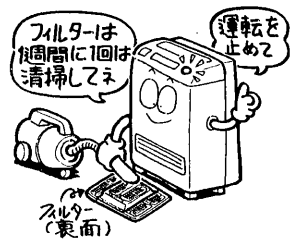
室外ユニットの点検

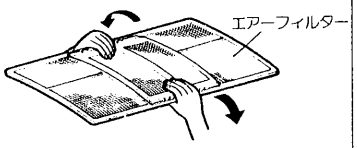
室外ユニットに保護カバーがかかったままになっていないか点検してください。
かかっている場合は取除いてください。

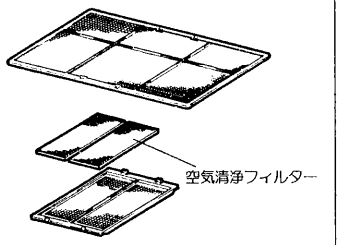
5.日常の点検・手入れ つづき

お手入れ

1







エアーフィルター

- エアーフィルターにほこりやごみがたまると「フィルターランプ」が点滅します。(暖房時のみ) このときは必ず運転を止め機具が冷えてから掃除をしてください。
- フィルターサインが点滅していなくても、お部屋の掃除などのときに一緒に掃除していただけば(1週間に1回程度)いつでも清潔に気持ちよくお使いいただけます。
- エアーフィルターを図のように引き出し、掃除機などでほこりを吹い取ってください。
- 清掃後元通り奥まで差込んでください。

ご注意

- 運転中にエアーフィルターを引き出すとごみがファンに吸込まれ、異常音の発生や吸込まれたごみが焦げることがあります。

空気清浄フィルター

空気清浄フィルターがエアーフィルター裏面の色見本表示と同程度まで汚れている場合は取外して新しいフィルター(別売部品)と交換します。

①エアーフィルターを取出します。

②図のようにフィルターを裏返して軽くそらせばフィルター枠より空気清浄フィルターが取外せます。

③汚れたフィルター(2枚)と新しいフィルターとを入換えて元通りフィルター枠に取付けます。

④交換後、エアーフィルターを元通り奥まで差込んでください。

ご注意

- 空気清浄フィルターは約3か月を目安に交換してください。
- 空気清浄フィルターは使い捨てです、洗っても再使用はできません。

2

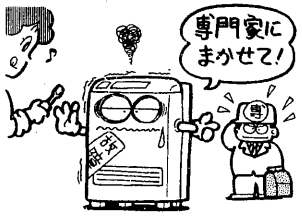
室内ユニット外装

①温風・冷風吹出口のほこりを、掃除機などで吸いとってください。

②室内ユニット全体のほこり・汚れは、乾いたやわらかい布などでふきとってください。

部品交換のしかた

1



お客さまご自身での修理や部品交換はしないでください。お買い求めになった販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談センターに、お問い合わせいただき、専門技術者の修理をお受けください。

●消耗、劣化しやすい部品

項　　目	内　　容
使用時間により交換が必要な部品	各種パッキン、排気筒接続用Oリング(JIS B 2401-4種D P34)、熱交換器、点火電極、炎検知器(フレームロッド)など
環境(海岸地域・温泉地域など) により劣化しやすい部品	給排気系部品、ガスフィルター、電気接点部品など

6.故障・異常の見分けかたと処置方法(1)

故障・異常早見表

異常が生じた場合は、下表を参照して、お客さま自身で処置してください。

	現象 / 原因	表示部が点灯しない	暖まらない	冷えが悪い	ブレーカーが作動する	風切り音が大きい	安全装置 表示部にE-00を表示する	安全装置 表示部にE-01を表示する	安全装置 表示部にE-04を表示する	安全装置 表示部にE-12を表示する	処置	参照ページ
1	電源プラグがコンセントから抜けている	●									電源プラグをコンセントに確実に差込む	10
2	停電があった						●				運転スイッチを押しなおす	10 11
3	部屋のガス元栓が全開になっていない		●					●			部屋のガス元栓を全開にする	9
4	給排気筒トップの先端がふさがっている							●	●		給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取除く	5
5	エアーフィルターにほこりがつまっている			●						●	エアーフィルターを清掃する	25
6	温風・冷風吹出口がふさがれている		●	●						●	障害物を取除く	3
7	冷房またはドライ運転中に冷房吹出口の可動部を押えた			●		●					運転スイッチを押しなおす	21
8	ブレーカーが作動している	●									ブレーカーをセットする	−
9	室外ユニットの通風が悪い			●	●						室外ユニットの障害物を取除く	8
10	室外ユニットに直射日光があたっている			●	●						日よけを付ける	−
11	室外ユニットに保護カバーがかかったままになっている			●	●						室外ユニットの保護カバーを取外す	9
12	LPガスボンベが空になっている		●					●			燃料屋さんに連絡する	−

以上の方法で点検し、処置してもなおらないときは、使用を中止し、お買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談センターへご相談ください。
修理をお申しつけのときには故障の内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されるチェックモード(故障・異常状態)をご連絡ください。
※表示部にE-06の表示が出たら、電源プラグをコンセントに差込みなおしてください。
差込みなおしても、まだE-06の表示が出る場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

表示部にこんな表示が出たら販売店までご連絡ください

E-02,E-03,E-05,E-07,E-08,E-09,E-10,
E-13,E-15,

こんな症状のときは使用を中止し販売店にご連絡ください。

使用される場所や条件、または長期間の使用により、下記のような症状が見られる場合には、使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、または最寄りの三菱電機お客さま相談センターへご相談ください。

暖房

症状	予測される故障
排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする。	排ガスが漏れているおそれがあります。 ●排ガスが室内に漏れますと、一酸化炭素中毒のおそれがあり非常に危険です。
運転開始時や使用中に「ボーン」という大きな音がする。	機器を損傷したり、部品が故障しているおそれがあります。
運転開始しなかったり、使用途中で火が消えることがたびたびある。	部品が故障しているおそれがあります。

冷房

症状	予測される故障
ブレーカーがたびたび動作する。	部品が故障しているおそれがあります。
室内ユニット背面や下側から水が漏れている。	ドレンホースが外れていたり、詰っているおそれがあります。

6.故障・異常の見分けかたと処置方法(2)

安全装置が作動したときの処置方法

過熱防止装置

●エアーフィルターの目づまりや温風・冷風吹出口に障害物があり、室内ユニット内部が過熱すると、過熱防止装置が作動して運転停止し、「E-12」を表示します。エアーフィルターのお手入れ(25ページ参照)または障害物を取除きます。

停電安全装置

●運転中に停電になりますと安全装置が作動し再通電後、「E-00」を表示します。

★停電中は使用できません。
★再び通電しても自動的に運転しませんので、運転スイッチを押しなおしてください。

立消え安全装置

●ガス圧が低いときや、ガスの流れが一時的にしゃ断されたとき、また給排気筒トップの先端がふさがれた場合などで燃焼が停止したとき、バーナーのガス通路を閉じ、「E-01」を表示します。

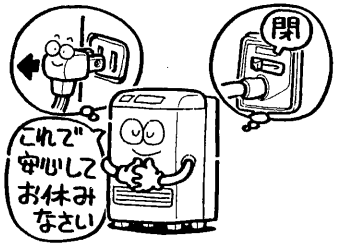
★部屋のガス元栓が全開になっているか、ＬＰガスボンベが空になっていないか、給排気筒トップの先端がふさがっていないか確認してください。

冷房時3分再起動防止装置

●冷房運転中にタイマーをセットしたり冷房運転停止後、運転切換スイッチや室温調節ボタンなどで、すぐに(3分以内)再運転しますと室内ユニットはただちに運転を開始しますが、室外ユニットは運転しません。
これは室外ユニット保護のため安全装置が働くためで約3分後に自動的に運転を再開します。

7.長期間使用しない場合

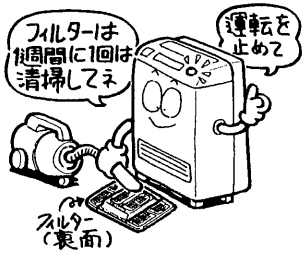
1



器具は取外さないで保管します

電源プラグをコンセントから抜いてガス元栓を閉じてください。

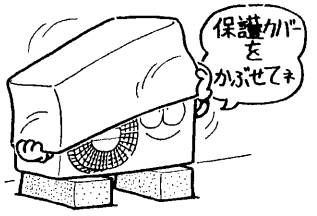
2



室内ユニット、エアフィルター、温風吹出口の掃除をしてください。
(25ページ参照)

室内ユニット内部の清掃は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
(有料)

3



冷房シーズン終了時には、室外ユニットに保護カバー（別売部品）をかぶせることをおすすめします。

ご注意

器具は取外さないでください。

●万一、取外して保管するときは湿気やほこりの少ないところに保管してください。
●設置するときには必ずお買い求めになった販売店に依頼してください。(有料)

8.仕様

仕様一覧表

50/60Hz

製品名			クリーンヒーターエアコン	
形名	室内ユニット		VGC-3001DF	VGC-4001DF
	組合わせる室外ユニット		VGU-22DF	VGU-28DF
電源製品	定格電圧	室内ユニット	単相100V 50/60Hz	
		室外ユニット		
	コンセント定格・形状		125V 15A ⑪形	125V 20A (IL)形
	外形寸法		高さ750mm、幅560mm、奥行230mm	
	製品重量	室内ユニット	32kg	32kg
		室外ユニット	27kg	37kg
	電源コードの長さ		2m	
安全装置			過熱防止装置・異常過熱防止装置・過電流保護装置・停電安全装置・立消え安全装置・冷房時3分再起動防止装置	
暖房関係	暖房方式		強制対流式	
	給排気方式		密閉式(強制給排気式)	
	点火方式		放電点火式	
	消費電力		57/61W	60/65W
	暖房のめやす	温暖地	木造 8畳 (13㎡)まで コンクリート10畳(16.5㎡)まで	木造 10畳(16㎡)まで コンクリート14畳(25㎡)まで
		寒冷地	木造 8畳 (13㎡)まで コンクリート12畳 (20㎡)まで	木造 11畳(18㎡)まで コンクリート17畳(30㎡)まで
	排気温度		260℃以下	
	給排気筒トップ		ステンレス製・壁穴径φ80mm	
	ガス接続		PT3/8オネジ	
	ガスの種類および消費量		都市ガス 4A、4C、5A、5B、5C、6A、6B 7C、13A……3,000kcal/h 4B、6C……2,850kcal/h 12A……2,800kcal/h LP(プロパン)ガス……0.24kg/h	都市ガス 4A、4C、5A、5B、5C、6A、6B 7C、13A……4,200kcal/h 4B、6C……4,000kcal/h 12A……3,900kcal/h LP(プロパン)ガス……0.31kg/h
冷房関係	冷房能力		2.2/2.5KW(2,000/2,240kcal/h)	2.8/3.2KW(2,500/2,800kcal/h)
	冷房のめやす	木造	6畳(11㎡)まで/7畳(12㎡)まで	8畳(13㎡)まで/9畳(15㎡)まで
		コンクリート	10畳(16㎡)まで/11畳(18㎡)まで	12畳(20㎡)まで/14畳(22㎡)まで
	除湿量(専用除湿機能なし)		1.4/1.6ℓ/h	1.8/2.0ℓ/h
	消費電力		750/895W	990/1150W
	運転電流		8.3/9.0A	11.3/11.6A
	冷媒管貫通部穴径		φ80mm	

- 暖房のめやすの数値は昭和57年3月1日改正告示のJIS S 3031（石油燃焼機器の試験方法通則）の解説書に準拠し、(社)日本ガス石油機器工業会の統一基準によります。
- ガス消費量は標準ガスを使用したときの消費量を表わし、各家庭での消費量とは一致しないことがあります。
- 冷房のめやすの数値は、品質表示法に基づく表示によります。

9.アフターサービス

サービスを依頼される前に

取扱説明書の「故障・異常の見分けかたと処置方法」(27～29ページ参照)に従って調べていただき、なおらないときには、次の処置をしてください。

●保証期間中は…

お買い求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って販売店が修理致します。

〈連絡していただきたい内容〉

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・形名・ガスの種類・お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  できるだけ詳しく〔表示部のチェックモード(故障・異常状態)数字など〕お知らせください。
- 訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは…

お買い求めの販売店にまずご相談ください。ご要望により有料で修理致します。

転居や設置場所の変更

増改築や転居などによる取外しおよび再設置は、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談センター(連絡先は同梱の一覧表参照。)へご相談ください。
転居される場合は、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のガス事業者にご相談ください。

- ガスの種類、ガス会社のガス、および電源周波数が異なる地域へ転居する場合は、調整または改造の必要があります。(有料)
- 移設の場合は、専門の工事店にご依頼ください。(有料)
- 設置場所を変更されるとき、畳替え、じゅうたんの張り替えなどで器具をずらす場合や収納した後、再使用する場合はお買い求めになった販売店に設置を依頼してください。(有料)この場合、排気筒接続部のOリング(ゴムパッキン)はすべて交換します。

9.アフターサービス つづき

保証について

★この商品には、保証書を別途添付しております。

★保証書は販売店から必ずお受けとりください。

★保証書は保証書に記載の条件、期間の無料修理をお約束するものです。
販売店名、お買い上げ日などの記入をご確認のうえ、大切に保管してください。

★保証期間は、お買い上げ日から本体は1年間です。ただし、燃焼器部分および冷媒回路は3年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

クリーンヒーターエアコン〈強制給排気式ガスストーブ〉の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

- この期間は通商産業省の指導によるものです。
- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

連絡先

★サービスを依頼される場合や転居、贈答品の修理その他でお困りの場合などは、お買い求めの販売店、または最寄りの三菱電機お客さま相談センター（同梱の一覧表参照。）にお問い合わせください。

10.定期点検

定期点検が必要です

クリーンヒーターエアコン〈強制給排気式ガスストーブ〉はご使用の時間に伴って、またご使用の状況に関係して、消耗・劣化する部品がありますので、専門技術者による定期点検を受けてください。

●定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ（例えば、厨房室や製綿工場など）、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買い求めになった販売店に相談してください。

★定期点検

定期点検は専門技術者が使用条件に合わせて消耗しやすい部品、重要部品などの点検を行います

★お申し込み先

お買い求めになった販売店、または最寄りの三菱電機サービスセンター

★定期点検費用

定期点検・交換部品の費用はお客さまにご負担いただきます。

●定期点検の内容

項　　目	内　　容
安全装置、給排気回りなどの点検・確認	●電気配線　●安全装置の働き ●操作部品や、動く部品の働き ●給排気筒の接続とつまり ●給排気筒トップのつまり
使用時間により交換が必要な部品	●各種パッキン、排気筒接続用Oリング（JIS B 2401-4種D P34）、熱交換器、点火電極、炎検知器（フレームロッド）などの点検・交換
環境により劣化しやすい部品	●給排気系部品、ガスフィルター、電気接点部品などの点検・整備（劣化の状態により、交換の場合もあります。）
製品の清掃・整備	●本体内　●エアーフィルター　●熱交換器 ●燃焼確認窓　●温風・冷風吹出口

お客さまへ

点検時期の目安やおぼえなどのために、ご購入年月日、形名、ご購入店名などを記入しておいてください。

ご購入年月日	
形　　名	
ご購入店名	電話(　　)　-

ご愛用者カードは是非ご返却ください。

ご回答していただきましたご意見は、よりよい製品づくりのために役だたせていただきます。

三菱電機株式会社
〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

9012A㊥H
588H55240